
平成29年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成29年3月7日

質問者（質問順）

- 1 大貫憲夫委員（共産党）
- 2 川口 広委員（自民党）
- 3 伊藤純一委員（民進党）
- 4 福島直子委員（公明党）

港 湾 局

局 別 審 査

1 大 貫 憲 夫 委 員 (共 産 党)

1 臨港幹線道路整備について

- (1) 臨港幹線道路の計画当時の位置づけ、現在の整備状況及び整備が途中で止まっている理由について伺いたい。
 - (2) 既に目的は果たしていると考えるが、局長の見解を伺いたい。
 - (3) 臨港幹線道路の計画当時の位置づけからすると、整備は必要なくなったという認識に立つべきと考えるが、局長の見解を伺いたい。
 - (4) 臨港幹線道路は、計画当時の位置づけとは別の理由で必要になったということにしていくべきと考えるが、局長の見解を伺いたい。
 - (5) 海底トンネルの計画について伺いたい。
 - (6) 交通発生量はどのくらいあったのか、それが今後どうなるのか、山下ふ頭の再開発がどのように関わってくるのか、全部調査をしたうえで整備をするべきと考えるが、局長の見解を伺いたい。
 - (7) 交通発生量はいつ調べたのか、またそのデータを明らかにするべきと考えるが、局長の見解を伺いたい。
- (意見) 将来の I R、これを入れるための下準備であってはならない。

2 国際コンテナ戦略港湾政策について

- (1) マースクラインが航路を休止した経緯について伺いたい。
- (2) 同航路サービスを利用していた荷主企業の反応について伺いたい。
- (3) 航路休止に対する所感について伺いたい。
- (4) 船舶の大型化により寄港地が絞られた結果、横浜港が外されたと考えるが、局長の見解を伺いたい。
- (5) 大型船が横浜港に来なくなったということは、それだけの理由があると考えるが、局長の見解を伺いたい。
- (6) 今後の日本の港には、2万 T E U 級の船は来ないと考えるが、局長の見解を

伺いたい。

(7) 既存のバースで十分対応できると考えるが、局長の見解を伺いたい。

(8) 今の集荷策は時流に合わないと思うが、局長の見解を伺いたい。

(意見) 国主導を進めれば大変なことになる。

1 29年度予算について

- (1) 29年度予算に対する局長の所感を伺いたい。
- (2) 29年度の重点的取組について伺いたい。

2 横浜港の港勢について

- (1) 28年の外貿コンテナ取扱量の状況について伺いたい。
- (2) 28年下半期の外貿コンテナ取扱量の増加要因について伺いたい。
- (3) 外貿コンテナ取扱量の今後の見通しについて伺いたい。
- (要望) 貨物動向を注視するとともに、横浜港の利用促進に向けた取組を積極的に進めるようお願いしたい。

3 基幹航路の誘致について

- (1) 海運動向の現状について伺いたい。
- (2) アライアンスの再編が横浜港に与える影響について伺いたい。
- (要望) 邦船3社が加入する「ザ・アライアンス」も含め、更なる横浜港利用に向けて、是非積極的に取組を進めていただきたい。
- (3) 横浜港における北米航路の重要性について伺いたい。
- (4) 今後の基幹航路誘致に向けた取組について伺いたい。
- (要望) 国や横浜川崎国際港湾株式会社と連携し、基幹航路を中心とした横浜港の航路ネットワークの拡充に向けた施策を強力で推進することをお願いしたい。

4 ふ頭の再編・整備について

- (1) 海運アライアンスの動向を踏まえたふ頭の再編・整備の考え方について伺いたい。
- (2) 横浜港をザ・アライアンスの拠点としてもらうべきと考えるが、局長の見解を伺いたい。

(3) 新本牧ふ頭の事業化に向けた取組状況について、副市長に伺いたい。

(要望) 今回の海運動向の変化をチャンスとして捉え、ふ頭の再編・整備を着実に進めることで、横浜港の機能強化に取り組むよう要望したい。

5 山下ふ頭再開発について

(1) 山下ふ頭における事業者の業務の種類について伺いたい。

(2) 事業者に応じた移転協議の進め方について伺いたい。

(3) 移転補償の内容について伺いたい。

(4) 新倉庫建設に対する支援制度について伺いたい。

(要望) 事業者の皆様の声に耳を傾け、円滑に移転調整を進め、「世界が注目し、横浜が目的地となる都心臨海部にふさわしい新たな魅力を創出していく」こととなる、山下ふ頭の再開発を着実に進めていただきたい。

6 臨海部における民間の活力を活かした賑わいの創出について

(1) 横浜ベイサイドマリーナ地区の開発事業者公募の提案内容について伺いたい。

(2) 新たな開発の提案に対する本市の評価について伺いたい。

(3) 今後の賑わいの継続について伺いたい。

(要望) 途切れることなく地域の賑わいが続いてほしいとの地元の願いも胸に刻んで、開発を進めるようお願いしたい。

(4) 水陸両用バス社会実験の実績について伺いたい。

(5) 水陸両用バスの今後の取組について伺いたい。

(意見) 今後、市内外はもちろん海外の方を含め、より一層多くの方に利用していただけるよう、取り組むことを期待したい。

(6) 赤レンガ倉庫広場でのイベント開催状況について伺いたい。

(7) 赤レンガ倉庫における市の施策などのPRを行うイベントの開催について伺いたい。

(8) 臨海部において、内陸部も含めた横浜市全体の魅力を発信すべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

(要望) 臨海部の施設の中で、大さん橋が、外国客船で横浜を訪れる外国人観光客

にとっての「玄関口」という機能に着目し、外国人観光客に向けて、横浜をPRする場所としてより一層活用すべきと考える。関係局と連携し、郊外部も含めた横浜の魅力を伝えるようお願いしたい。

3 伊藤純一委員（民進党）

1 客船の受入機能強化について

- (1) 今後予定している大さん橋国際客船ターミナルの機能強化について伺いたい。
- (2) 大さん橋1号線道路改良事業の内容について伺いたい。
- (3) C I Q施設の整備に合わせた周辺環境の整備について伺いたい。

2 みなとオアシスへの新規登録について

- (1) みなとオアシス制度の趣旨について伺いたい。
 - (2) 登録の経緯について伺いたい。
 - (3) 登録による効果について伺いたい。
 - (4) 今後の取組について伺いたい。
- (意見) 市民や観光客の皆様楽しんでいただけるイベントが継続的に行われ、大さん橋を中心として、客船が寄港していない時にも楽しさが感じられる、まさにオアシスのような横浜港となるよう、制度を生かして取り組むことを期待したい。

3 山下ふ頭再開発について

- (1) 山下ふ頭の再開発が港湾計画に初めて位置付けられた時期と内容について伺いたい。
 - (2) 現在の倉庫事業者との移転協議の状況について伺いたい。
 - (3) 29年度に実施する建物調査の内容について伺いたい。
 - (4) 本牧ふ頭A突堤を移転先とすることによる移転協議への効果について伺いたい。
 - (5) 山下ふ頭再開発を推進していく決意について副市長に伺いたい。
- (意見) 今後とも、地元の倉庫等事業者をはじめ港湾関係者の協力を得て、丁寧な調整を基に、着実に事業を進めることを期待したい。

4 水上交通の取組について

- (1) 横浜港を中心とした水上交通の現状について伺いたい。
- (2) 社会実験における新たな試みについて伺いたい。
- (3) 川崎・東京方面への水上交通の展開について伺いたい。
- (要望) 今後も民間事業者や他の自治体等とともに、社会実験などの取組を続け、水上交通ネットワークの拡大と多様化に、引き続き取り組んでいただきたい。

5 国際交流について

- (1) 港湾局がこれまで取り組んできた国際交流・国際協力の内容とその効果について伺いたい。
- (2) 28年度の実績について伺いたい。
- (3) 29年度の進め方について伺いたい。
- (4) 東南アジアの港と積極的に交流を進めている理由について伺いたい。
- (5) これまでのタイ港湾庁とのパートナーシップの連携の状況について伺いたい。
- (6) JCM制度を活用したタイ港湾庁における具体的な取組について伺いたい。
- (7) フィリピン港湾庁と共同声明を行った狙いについて伺いたい。
- (8) 共同声明を受けて、今後どのように交流を発展させていくのか副市長に伺いたい。
- (意見) 多くの国との国際交流が活発に行われ、友好が深まり発展につながることを期待したい。

6 LNGバンカリングについて

- (1) 現在実施中の取組について伺いたい。
- (2) 具体的な目標について伺いたい。
- (3) LNGバンカリングに関する国際シンポジウムへの期待について伺いたい。
- (4) 2つの制度に同時に参加する狙いについて伺いたい。
- (5) LNGバンカリング拠点の形成に向けたインセンティブ制度加入の効果について伺いたい。
- (要望) 環境性能に優れた船舶が横浜港により多く寄港するようになれば、横浜港

の国際競争力の強化に資するだけでなく、「環境未来都市・横浜」という都市の魅力の発信にもつながるため、着実な制度運用をお願いしたい。

4 福島直子委員（公明党）

1 港湾運営会社による営業活動について

（１）２８年度の活動内容について伺いたい。

（２）集貨支援制度による成果について伺いたい。

（３）地方港への影響について伺いたい。

（４）２９年度の具体的な取組について伺いたい。

（要望）横浜港に貨物を集約していく国際コンテナ戦略港湾政策の推進は、地理的な優位性を生かし、東アジアの国際ハブポートを目指すものであるため、この取組に向けた不断の努力を強く要望したい。

2 柳原良平氏作品の常設展示ギャラリー新設と横浜サポーターズ寄附金の活用について

（１）常設展示ギャラリーの具体的な展示内容について伺いたい。

（要望）ギャラリーが新設された後は、素晴らしい作品をできるだけ多くの皆様にご覧いただくため、しっかりと工夫をしていただくようお願いしたい。

（２）ギャラリー整備の全体予算額とその中で横浜サポーターズ寄附金をどの程度活用するつもりなのか伺いたい。

（３）寄附金を活用する狙いについて伺いたい。

（要望）常設展示が予定されている横浜みなと博物館は、開館から 30 年近く経っており、手を入れる必要があると考える。お客様にとって、更に快適で、意義ある観光学習施設となるよう、今後の施設の更新計画を策定していただきたい。

3 官民連携による国際クルーズ拠点形成港湾について

（１）国際クルーズ拠点形成の基本的な仕組みについて伺いたい。

（２）国際クルーズ拠点形成の狙いを伺いたい。

（３）今後それぞれのクルーズ船社とはどのような内容で連携を進めていくのか伺いたい。

- (4) 今回連携するクルーズ船社がもたらす具体的な効果について伺いたい。
- (5) クルーズポート横浜の姿として、どのような将来像を形成していくのか副市長に伺いたい。

4 新港地区客船ターミナルの整備について

- (1) 事業の仕組みと役割分担について伺いたい。
- (2) 客船ターミナル整備に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- (3) サウンディング調査の実施結果について伺いたい。
- (4) 事業の今後の見通しについて伺いたい。

5 大さん橋を起点とした賑わいの創出について

- (1) 28年度の大さん橋への入場者数について伺いたい。
 - (2) 入場者が増加した理由について伺いたい。
 - (3) 横浜港の外国航路による上陸者数の近年の推移について伺いたい。
 - (4) 大さん橋におけるインバウンドへの課題について伺いたい。
 - (5) 課題解決に向けた取組と賑わい創出の考え方について副市長に伺いたい。
- (要望) 三溪園のような、日本らしさをコンパクトに味わえる観光資源と港とのつながりを強化していただきたい。また、文化観光局、市民局とも議論し、民間の力も借りて、「横浜にまた行きたい」と選んでいただけるような、横浜らしい、魅力のあふれた賑わい創出策を展開するよう要望したい。